

大阪 森の間伐紙

おおさか もりのかんばつし

「大阪の森を次世代につなごう」というスローガンをかけ、
大阪の間伐材を大阪の製紙会社で間伐紙にしました。

日本は戦後大規模な造林を行ったため、人口の森がたくさんあります。国土に占める森林の割合は約 7 割あり、森林王国であるノルウェーですら約 3 割ですから比較にならないほど高いわけです。ところが、日本では木材の約 6.5 割を輸入に頼っているのが現状です。このため、日本の森は使われないで放置され荒れてしまっています。森は間伐しなければ、繁茂した木の葉によって日光が遮られ、下草が枯れ、土がやせてしまい、遂には木が育たなくなってしまいます。「間伐」は「環境を大切にする」という意味において非常に大切な行為で、同時にその間伐された木材を使っていく事を考えて行かなくてはなりません。「日本の木は日本で」「大阪の木は大阪で」と考えて、間伐材を有効に使っていくことが、「森を大切にする」そして「環境を大切にする」ということに繋がります。



大阪 森の間伐紙
(おおさか府内の間伐材を使用)

スギ・ヒノキの間伐材 …… 約 20%
牛乳パックなどの再生紙 …… 約 80%

この紙の木材パルプは非加熱・無薬品
で作られた環境に配慮した紙です。
(苛性ソーダ・酸素系漂白剤未使用)

間伐紙規格

キク判 (939/636) Y目 (93.5kg)
100枚包装

A4 (297/210) Y目 (135kgベース)
10枚包装・100枚包装・1000枚包装

お問い合わせ

株式会社 シオザワ【関西支社】
〒577-0006 大阪府東大阪市楠根 3-5-34
<https://shiozawa.co.jp>

tel. 06-6745-4030
fax. 06-6745-4040

4030
SHIOZAWA



協力



「大阪 森の間伐紙」の収益は、地域の森林育成や保全活動に活用します。